

第二次の特定外来生物に選定することが適切と考えられる外来生物(魚類)に係る評価の理由(案)

魚類

特定外来生物の指定対象とすることが適切である外来生物	被害の概要	評価の理由
カダヤシ	生態系(捕食、競合・駆逐)	・繁殖力が旺盛であり、日本でも都市近郊の水田や用水路などに定着してメダカを駆逐しており、今後もさらに分布を拡大するおそれがある。
ケツギョ	生態系(捕食、競合・駆逐)	・東アジア原産の比較的大型になる魚食性淡水魚であり、冬の低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が旺盛なため、全国各地の湖沼に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。
コウライケツギョ	生態系(捕食、競合・駆逐)	・東アジア原産の比較的大型になる魚食性淡水魚であり、冬の低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が比較的強く、全国各地の河川に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。
ストライプトリス	生態系(捕食、競合・駆逐)	・温帯域に生息し比較的大型になる魚食性淡水魚であり、世界各地では本種の導入・定着後に在来生物相に影響を及ぼしている可能性が指摘されている。 ・北アメリカ原産であるため冬の低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が比較的強く、全国各地の湖沼や河川に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。
ホワイトリス	生態系(捕食、競合・駆逐)	・北アメリカ原産の比較的大型になる魚食性淡水魚であり、低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が比較的強く、全国各地の湖沼や河川に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。
ヨーロッパパーチ	生態系(捕食、競合・駆逐)	・温帯域に生息し比較的大型になる魚食性淡水魚であり、世界各地では本種の導入・定着後に在来生物相の著しい変化が確認されている。 ・ヨーロッパ原産であるため冬の低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が比較的強く、全国各地の湖沼や河川に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。
パーチ	生態系(捕食、競合・駆逐)	・温帯域に生息し比較的大型になる魚食性淡水魚であり、世界各地では本種の導入・定着後に在来生物相の著しい変化が確認されている。 ・ヨーロッパ原産であるため冬の低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が比較的強く、全国各地の湖沼や河川に導入すれば侵入して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。
ノーザンパーチ	生態系(捕食、競合・駆逐)	・温帯域に生息し比較的大型になる魚食性淡水魚であり、世界各地では本種の導入・定着後に在来生物相の著しい変化が確認されている。 ・ヨーロッパ原産であるため冬の低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が旺盛で、全国各地の湖沼や河川に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。

マスクーバイク

生態系 (捕食、競合・駆逐)

・北アメリカ原産の比較的大型になる魚食性淡水魚であり、低水温に耐えることが可能で、かつ繁殖力が旺盛なため、全国各地の湖沼や河川に侵入すれば定着して在来生物相に大きな影響を及ぼすおそれがある。